

<b>サービス・システム名称</b>	<b>大分類</b> (いずれかを選択)
キッズ安心サービス (マイカルテカードシステム)	■ライフ □ビジネス
<b>小分類</b> (記入要領に従い、最大で5つまで選択可)	
<input checked="" type="checkbox"/> 安心・安全 <input checked="" type="checkbox"/> 医療 <input type="checkbox"/> 食 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> コミュニティ <input checked="" type="checkbox"/> 見守り・介護 <input type="checkbox"/> 就労・労働 <input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 電子認証・決済 <input type="checkbox"/> コンテンツ制作・流通 <input checked="" type="checkbox"/> 防災・災害対策 <input type="checkbox"/> 地理的情報格差解消 <input type="checkbox"/> アクセシビリティ <input type="checkbox"/> セキュリティ対策 <input type="checkbox"/> 交通・物流 <input type="checkbox"/> 業務効率化 <input type="checkbox"/> 生産性向上 <input type="checkbox"/> ポータルサービス <input checked="" type="checkbox"/> 行政サービス <input type="checkbox"/> その他( )	
<b>u-Japanの理念</b> (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> ユビキタス <input checked="" type="checkbox"/> ユニバーサル <input checked="" type="checkbox"/> ユーザ <input checked="" type="checkbox"/> ユニーク
<b>地域活性化への貢献、地球温暖化問題への対応</b> (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化 <input checked="" type="checkbox"/> 温暖化問題への対応
<b>企業または団体名</b>	
株式会社 レノメディカ	
<b>サービス・システムの概要</b>	
<p>カード内部の IC チップに所持者属性、保護者連絡先などを直接書き込むことで、センターサーバーに問い合わせを行うことなく学童保育所に児童が入室した、退室した等のメールを送ることができる。連絡先情報はカードに保持しているため、この児童が学校、児童館、塾などに通う場合も 1 枚のカードで安否確認が行える。カードに直接アレルギー情報や、禁忌薬なども書き込むことが可能なため、このカードを所持した児童が休日診療所等を受診した場合も容易に健康情報が確認可能。 ◆商品公式 HP <a href="http://www.mycartecard.com/">http://www.mycartecard.com/</a></p>	
<b>サービス・システムの狙い</b> (利用想定層、開発・提供のきっかけ)	
<p>健康不安を感じておられる方が、何処の医療機関に行っても容易に禁忌情報を確認できるように読取施設側の経済的負担を極限まで軽くした。患者が救急車等に収容された際、カードに書き込まれた連絡先に収容情報を通達する要望があったのがきっかけ。かざすだけで安否連絡が送れるため、学校、区民館などに展開可能。あらかじめ利用者想定リストを準備する必要がないため、震災等の際も収容先に読取システムがあればカードをかざすだけで、収容情報を保護者に連絡する事が可能。</p>	
<b>サービス・システムの特徴・特記事項</b>	
<p>①カードを読取るリーダーが非常に安価(数千円)。また送信を行うシステムも汎用の PC で導入可能。  ②センターサーバー方式をとらないため、専用線などのインフラコスト不要。システム管理者不要。  ③センターのデータを参照しない為、商店や、「こども 110 番」等でもサービス提供可能となり地域活性化。  ④個人情報カードに格納し、第三者管理としない為、個人情報保護法に抵触しないシステムが構築可能。</p>	
<b>利活用の状況</b>	
<p>提供地域 <u>都内自治体</u> 導入主体 <u>都内自治体 区民館、学童保育所(現在実証事業中)</u>  提供開始年月日(開発中のものは予定時期) <u>2008/6/1</u> (開発年月日) <u>2007/10/1</u></p>	
<b>定量的導入効果</b>	
<p>・センターサーバー、アクティブ型 IC タグを用いた同人数規模の安否確認サービスと比較しコスト 1/20。  ・現在実証中自治体においても省内ネットワークを利用することなく、システム管理者 0 人で運用実施。  ・アクティブ型 IC タグなどに比較し電池代コスト不要。多角的に利用可能とする事でカード廃棄もなし。  【環境負荷軽減】センターサーバーを置かないことで 1 台当たり年間 12.5トンの CO2 削減。</p>	
<b>定性的導入効果</b>	
<p>・連絡を受ける保護者の方への安心への貢献、時間の有効活用等は勿論であるが、本システムは導入施設側のスタッフにとっても導入への作業負担軽減効果が大きい。専門的なシステム機器を必要としない為、導入にあたり、機器設置 2 時間、操作方法説明 1 時間程度で運用が可能である。専従者を置かない事で自治体等でも容易に導入でき、何処でもカードをかざせる拠点ポイントを増やしていくことにつながると考えている。</p>	
<b>導入に当たって克服した課題</b> (苦勞をした点・工夫)	
<p>・カードを紛失した際、容易に内部の情報が読取れない様、チップフォーマットを工夫した。  ・どなたでも拠点のシステムを操作する事が可能な様に、読み取りプログラム、導入方法を簡易なものとした。  ・さまざまな事業者がこのシステムを導入できるよう、カードの識別子に応じてプログラムを複数用意した。  ・先例的な物が無く、特許出願となったが、予備知識のない方にご説明する資料作成に苦勞した。</p>	
<b>現状の課題、今後の展開など</b>	
<p>同一のカードを用いて、安否連絡を行わず、来店ポイントをカードに書き込むなど活性化利用の多角展開。自治体などで導入されている図書カードなどとの相互利用提案。</p>	
<b>過去の表彰歴および表彰に関する報道等</b>	
<p>財団法人日本産業デザイン振興会 2008 年度グッドデザイン賞(ソリューションビジネス)  「日経産業新聞」(2008/2/20)、「月刊カードウェブ 2008 年 5 月号」、「フジサンケイビジネスアイ」(2008/7/1)</p>	
<b>本件の問合せ先</b>	医療事業部 システム課 電話 03-6226-6727 E-mail: lilica@renomedica.co.jp